

2019年2月20日

各位

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団
理事長 持田 直幸



2019年度 持田記念学術賞（褒賞）の推薦依頼について

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より当財団の事業運営に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当財団は「定款」に基づき研究助成等の事業を実施しており、このうち持田
記念学術賞（褒賞）について2019年度分の選考を致したいと存じます。
ご多忙の折、たいへん恐縮ですが別添の推薦要項により、ご推薦いただきたく
よろしくお願い申し上げます。 謹白

追伸

2019年度研究助成、留学補助の公募を同封の募集要項で開始しますので、
貴学会誌等で広報していただけますと幸甚です。

《問合せ先》

公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町3番1号 四谷ワズビル
TEL. (03) 3357-1282 FAX. (03) 3357-1264
E-mail zaidan@mochida.co.jp
U R L <http://mochida.co.jp/zaidan/>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

2019年度

持田記念学術賞 候補者の推薦要項

(Academic Award of the Mochida Memorial Foundation)

1. 持田記念学術賞の対象	<p>本財団は、生命科学を中心とする医学、薬学及びこれに関連する物理学、化学、工学、生物学等の先見的独創的研究を育成し、かつ、これらの成果を総合して医療をはじめとするヘルスケアに応用し、もって我が国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的としております。持田記念学術賞はその一環として創設された冠となる賞であり、次の6項目の研究分野で、研究の進歩発展のため顕著な功績のあった研究者に贈呈致します。</p> <p>(1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究 (3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究 (4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究 (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 (6) 創薬とその臨床応用に関する研究</p>
2. 副賞と件数	総額2,000万円、1件1,000万円、2件以内と致します。
3. 推薦人	<p>持田記念学術賞の推薦は下記に依頼致します。なお、1推薦人は1候補者の推薦に限ります。</p> <p>1) 本財団より推薦依頼を受けた学会 2) 本財団の理事又は諮問委員 3) 持田記念学術賞の既受賞者</p>
4. 推薦方法	推薦人は、推薦書に必要事項を記入し、本財団宛てに送付してください。
5. 推薦締切日	2019年5月20日(月) (当日の消印有効)
6. 選考の方法	選考作業は本財団選考委員会が行い、持田記念学術賞受賞候補者を選考し、2019年9月13日(金)の本財団理事会に諮り決定致します。
7. 持田記念学術賞の贈呈式	<p>持田記念学術賞の贈呈式は2019年11月8日(金)に開催致します。</p> <p><u>受賞者には贈呈式に必ず出席していただき、受賞対象研究に関する記念講演をしていただきます。</u></p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

8. その他	<p>1) 推薦書記載の個人情報 は本財団の褒賞事業を遂行する範囲のみで利用致します。本財団の個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）並びに利用目的はホームページに掲載してあります。</p> <p>2) 受賞者については、推薦書記載の研究内容等を「持田記念財団年報」に掲載し、大学・研究機関の図書室、当財団の役員、当該年度の交付対象者等に配布致します。</p> <p>3) 受賞者については、氏名、所属機関、研究課題名等をホームページや事業報告書等で公開します。</p> <p>4) 提出された推薦書等は受賞の有無にかかわらず返却致しません。</p>
9. 提出及び 問い合わせ先	<p>公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 事務局 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町3番1号 四谷ワイズビル Tel. (03) 3357-1282 (直通) Fax. (03) 3357-1264 E-mail : zaidan@mochida.co.jp</p>

2019年度
持田記念学術賞 受賞候補者推薦書

公益財団法人持田記念医薬学振興財団 御中

I. 主たる研究者		学位	
氏名	ローマ字	19 年 月 日生 () 歳	
研究機関 (教室名まで)		職名	
所在地			
E-mail		TEL ()	-
秘書氏名			
秘書 E-mail		秘書TEL ()	-
		学位	
氏名	ローマ字	19 年 月 日生 () 歳	
研究機関 (教室名まで)		職名	
所在地			
E-mail		TEL ()	-
秘書氏名			
秘書 E-mail		秘書TEL ()	-
II. 研究テーマの題名			
短縮タイトル (20字以内)			

上記のとおり持田記念学術賞の受賞候補者を推薦します。

推薦者氏名

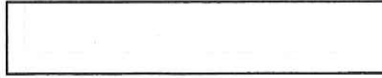
☑ 推薦区分 学会・理事・諮問委員・既受賞者

学会名及び役職

所在地 ☑

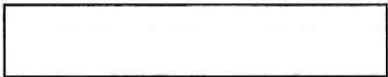
TEL

財団受領	
添付論文	部



VI. 推薦理由（業績の内容、特徴などを詳細に説明してください。）

A large, empty rectangular area enclosed by a thin black border, intended for the user to provide detailed reasons for recommendation.



VII. このテーマに関する候補者の研究論文リスト（各論文にはNo.をうち、そのうち代表論文5報以内に○印をつけて、コピーを1部ずつ添付してください。なお、タイトル及び全著者の氏名も省略せずに記入してください。添付いただいた代表論文のコピーについては返却いたしません。）

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

2019年度
研究助成金交付対象者 募集要項

<p>1. 研究助成の趣旨</p>	<p>(1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究 (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究 (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究 (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 (6) 創薬とその臨床応用に関する研究</p> <p>上記の研究を助成し、もってわが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とします。</p>
<p>2. 研究助成の対象</p>	<p>下記の研究対象の領域に属する研究を国内において行う研究者で、誕生日が1974年4月1日以降の方。 なお、2016年度以降の本財団研究助成金交付対象者は、本年度の募集対象と致しません。 また、学部・大学院等の学生ならびに企業所属の研究者は原則として募集対象と致しません。</p> <p>1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 …………… (研1) (多能性幹細胞、免疫／幹細胞治療、移植、再生医療、遺伝子治療、分子標的治療等の研究)</p> <p>2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究 …………… (研2) (ゲノムの機能、遺伝子疾患解析、疾患のエピジェネティクス、SNP解析、分子疫学等の研究)</p> <p>3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究 …………… (研3) (免疫制御、アレルギー、炎症、自己免疫疾患、免疫不全、老化、サイトカイン／ケモカイン、免疫調整薬、生物学的製剤等の研究)</p> <p>4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究 …… (研4) (心疾患、脳血管疾患、血管系疾患、血液、糖尿病、高血圧、高脂血症、メタボリックシンドローム等の研究)</p> <p>5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 …………… (研5) (創薬標的分子の探索／機能解析／治療制御、薬物送達、薬物代謝酵素、トランスポーター、イオンチャネル、分子イメージング等の研究)</p> <p>6) 創薬とその臨床応用に関する研究 …………… (研6) (薬物応答修飾因子の探索／機能解析、治療薬の探索／評価、医薬品の開発／評価、個別化治療、トランスレショナル医学等の研究)</p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

3. 研究助成金額と件数	研究助成金：総額3億4,500万円、1件300万円、助成件数115件と致します。
4. 応募方法	<p>1) 持田記念医学薬学振興財団のホームページ (http://www.mochida.co.jp/zaidan/) の助成WEB申請から『応募手順』に従い応募してください。</p> <p>2) 応募は各研究機関の研究室から1件とします。同一研究室から複数の応募はできません。複数の応募があった場合には先着応募を優先して受け付けます。</p> <p>3) 大学・大学院等に所属する方は教授職以上の推薦を必要とします。特任教授、特命教授等は推薦者になることは可能ですが、客員教授、名誉教授、准教授が推薦者になることはできません。一般病院等においては部長職以上、公的研究機関等ではグループ長（教授同等職）以上の推薦が必要です。教授自ら申請される場合には、自薦で結構です。なお、<u>1人の教授が推薦できる研究助成応募は1件に限ります。</u> (1人の教授が研究助成を1件、別に留学補助を1件推薦することは可能です。)</p>
5. 応募開始および締切日	2019年3月1日（金）より募集を開始しますので、WEBにてマイページを取得し、2019年5月8日（水）23時59分迄に申請書をWEB提出してください。
6. 選考方法	選考作業は本財団選考委員会が行います。採択人数は応募数と採択予定数から按分して各領域で採択率が出来るだけ均等になるように決定致します。研究助成金交付候補者を選考し、2019年9月13日（金）に本財団理事会に諮り決定致します。
7. 採否通知	2019年9月17日（火）から1週間程度の間申請者と推薦者宛てにメールで通知致します。更に採択された研究助成金交付対象者には贈呈式の案内等を文書で郵送致します。
8. 助成金の使途	研究助成金交付対象の研究に直接要する物品の購入費用、その他交付対象の研究の実施に必要な費用と致します。
9. 助成金の交付	贈呈式を2019年11月8日（金）に行い、研究助成金は11月中旬から12月中旬迄に交付致します。
10. 研究助成金交付対象者の義務	<p>1) 交付対象者は、研究助成金を2020年12月末迄に全額使用し、その収支に関する書類を整理保管し、2020年12月末迄に収支報告書を作成して本財団理事長に提出してください。 なお、収支報告書は本財団ホームページに掲載してあるフォーマットをご使用ください。 (http://www.mochida.co.jp/zaidan/document.html)</p> <p>2) 交付対象者は、2020年12月末迄に研究成果報告書を作成して本財団理事長に提出してください。</p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

	<p>3) 交付対象者が研究成果論文を発表する場合は、本財団の助成による旨を明記し、その論文の写しを添付して本財団理事長に報告してください。</p> <p>4) 交付対象者は、研究助成金交付対象である研究の内容に関して重要な変更をしようとするとき、又は当該研究を中止しようとするときは、その旨を本財団理事長に事前に報告し、承認を得る必要があります。</p>
<p>11. その他</p>	<p>1) 申請書記載の個人情報本財団の助成事業を遂行する範囲のみで利用致します。本財団の個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）並びに利用目的はホームページに掲載してあります。</p> <p>2) 交付対象者については、申請書記載の研究内容等を「持田記念財団年報」に掲載し、大学・研究機関の図書室、当財団の役員、当該年度の交付対象者等に配布致します。</p> <p>3) 交付対象者については、氏名、所属機関、研究課題名等をホームページや事業報告書等で公開します。</p> <p>4) 提出された申請書は採択・不採択にかかわらず返却致しません。</p> <p>5) 交付対象者は、<u>2019年11月8日（金）開催の贈呈式</u>に必ず出席してください。</p> <p>6) 研究成果に関する知的財産権は申請者に帰属します。本財団はその権利を主張致しません。</p> <p>7) 交付対象者が以下に該当した場合は、研究助成金の交付決定の取り消し、又は返還を求めることがあります。</p> <p>① 交付対象者から研究助成金交付対象である研究を中止したい旨の申し出があったとき</p> <p>② 研究助成交付対象の研究の開始前に、長期海外出張等の理由で研究を実施できなくなったとき</p> <p>③ 本財団の規程に違反したとき</p> <p>④ その他研究助成金交付対象者としてふさわしくない行為があったとき、又は特別の事情があるとき</p>
<p>12. 問い合わせ先</p>	<p>公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 事務局 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町3番1号 四谷ワイズビル T e l . (0 3) 3 3 5 7 - 1 2 8 2 F a x . (0 3) 3 3 5 7 - 1 2 6 4 E - m a i l : zaidan@mochida.co.jp URL : http://www.mochida.co.jp/zaidan/ よくあるご質問 (FAQ) http://www.mochida.co.jp/zaidan/faq.html</p>

2019年度
留学補助金交付対象者 募集要項

<p>1. 留学補助の趣旨</p>	<p>(1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究 (3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究 (4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究 (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 (6) 創薬とその臨床応用に関する研究</p> <p>上記の研究を行う研究者で国内または海外留学を1年以上される方を対象に留学を補助し、もってわが国の医療及び国民の保健の向上に資することを目的とします。</p>
<p>2. 留学補助の対象</p>	<p>下記の研究対象の領域に属する研究を国内において行っており、国内又は海外留学を2019年4月1日から2020年3月31日の間に開始し、1年以上留学される研究者で、誕生日が1974年4月1日以降の方。</p> <p>なお、2019年3月31日以前から既に留学を開始されている方及び2016年度以降の本財団留学補助金交付対象者は、本年度の募集対象と致しません。</p> <p>また、学部・大学院等の専門分野未確定の学生ならびに企業所属の研究者についても募集対象と致しません。</p> <p>(2020年4月1日以降に留学を開始される方については、次年度の募集対象となります。)</p> <p>1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 …… (留1) (多能性幹細胞、免疫/幹細胞治療、移植、再生医療、遺伝子治療、分子標的治療等の研究)</p> <p>2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能/病態解析に関する研究 …… (留2) (ゲノムの機能、遺伝子疾患解析、疾患のエピジェネティクス、SNP解析、分子疫学等の研究)</p> <p>3) 免疫/アレルギー/炎症の治療ならびに制御に関する研究 …… (留3) (免疫制御、アレルギー、炎症、自己免疫疾患、免疫不全、老化、サイトカイン/ケモカイン、免疫調整薬、生物学的製剤等の研究)</p> <p>4) 循環器/血液疾患の病態解析/治療制御に関する研究 …… (留4) (心疾患、脳血管疾患、血管系疾患、血液、糖尿病、高血圧、高脂血症、メタボリックシンドローム等の研究)</p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

	<p>5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 …………… (留5) (創薬標的分子の探索／機能解析／治療制御、薬物送達、薬物代謝酵素、トランスポーター、イオンチャネル、分子イメージング等の研究)</p> <p>6) 創薬とその臨床応用に関する研究 …………… (留6) (薬物応答修飾因子の探索／機能解析、治療薬の探索／評価、医薬品の開発／評価、個別化治療、トランスレショナルメディシン等の研究)</p>
<p>3. 留学補助金額と件数</p>	<p>留学補助金：総額1,000万円、1件50万円、助成件数20件と致します。</p>
<p>4. 応募方法</p>	<p>1) 持田記念医学薬学振興財団のホームページ (http://www.mochida.co.jp/zaidan/) の助成WEB申請から『応募手順』に従い応募してください。</p> <p>2) 応募は各研究機関の研究室から1件とします。同一研究室から複数の応募はできません。複数の応募があった場合には先着応募を優先して受け付けます。</p> <p>3) 大学・大学院等に所属する方は教授職以上の推薦を必要とします。特任教授、特命教授等は推薦者になることは可能ですが、客員教授、名誉教授、准教授が推薦者になることはできません。一般病院等においては部長職以上、公的研究機関等ではグループ長(教授同等職)以上の推薦が必要です。 なお、1人の教授が推薦できる留学補助応募は1件に限ります。 (1人の教授が留学補助を1件、別に研究助成を1件推薦することは可能です。)</p> <p>4) 受入機関の承諾書の写しを添付してください。(A4サイズ) (受入承諾書未入手の場合には受入機関からの承諾が分かるメールを添付してください。)</p>
<p>5. 応募開始および締切日</p>	<p>2019年3月1日(金)より募集を開始しますので、WEBにてマイページを取得し、2019年5月15日(水)23時59分迄に申請書をWEB提出してください。</p>
<p>6. 選考方法</p>	<p>選考作業は本財団選考委員会が行います。採択人数は応募数と採択予定数から按分して各領域で採択率が出来るだけ均等になるように決定致します。留学補助金交付候補者を選考し、2019年9月13日(金)に本財団理事会に諮り決定致します。</p>
<p>7. 採否通知</p>	<p>2019年9月17日(火)から1週間程度の間申請者と推薦者宛てにメールで通知致します。更に採択された留学補助金交付対象者には贈呈式の案内等を文書で郵送致します。</p>
<p>8. 補助金の使途</p>	<p>交付対象者本人の渡航費・滞在費等国内及び海外留学に直接要する費用と致します。</p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

9. 補助金の交付	贈呈式を2019年11月8日（金）に行い、留学補助金は11月中旬から12月中旬迄に交付致します。
10. 留学補助金 交付対象者の 義務	<p>1) 交付対象者は、2020年3月迄に留学を開始し、留学時の渡航費及び滞在費等に全額を使用し、その収支に関する書類を整理保管し、<u>2020年12月末迄に収支報告書を作成して本財団理事長に提出してください。</u></p> <p>なお、収支報告書は本財団ホームページに掲載してあるフォーマットをご使用ください。</p> <p style="text-align: center;">(http://www.mochida.co.jp/zaidan/document.html)</p> <p>2) 交付対象者は、<u>2020年12月末迄に研修報告書を作成して本財団理事長に提出してください。</u></p> <p>3) 交付対象者が研究成果論文を発表する場合は、本財団の助成による旨を明記し、その論文の写しを添付して本財団理事長に報告してください。</p> <p>4) 交付対象者は、留学補助金交付対象である留学もしくは研修の内容に関して重要な変更をしようとするとき、又は中止しようとするときは、その旨を本財団理事長に事前に報告し、承認を得る必要があります。</p>
11. その他	<p>1) 申請書記載の個人情報本財団の助成事業を遂行する範囲のみで利用致します。本財団の個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）並びに利用目的はホームページに掲載してあります。</p> <p>2) 交付対象者については、申請書記載の研究内容等を「持田記念財団年報」に掲載し、大学・研究機関の図書室、当財団の役員、当該年度の交付対象者等に配布致します。</p> <p>3) 交付対象者については、氏名、所属機関、研究課題名等をホームページや事業報告書等で公開します。</p> <p>4) 提出された申請書は採択・不採択にかかわらず返却致しません。</p> <p>5) 交付対象者は、<u>2019年11月8日（金）開催の贈呈式</u>に出席してください。なお、贈呈式の時点で交付対象者が既に留学されている場合には欠席していただいて問題ありません。</p> <p>6) 研究成果に関する知的財産権は申請者に帰属します。本財団はその権利を主張致しません。</p> <p>7) 交付対象者が以下に該当した場合は、留学補助金の交付決定の取り消し、又は返還を求めることがあります。</p> <p style="margin-left: 20px;">① 交付対象者から留学補助金交付対象である留学を中止したい旨の申し出があったとき</p> <p style="margin-left: 20px;">② 本財団の規程に違反したとき</p> <p style="margin-left: 20px;">③ その他留学補助金交付対象者としてふさわしくない行為があったとき、又は特別の事情があるとき</p>

公益財団法人持田記念医学薬学振興財団

12. 問い合わせ先	<p>公益財団法人 持田記念医学薬学振興財団 事務局 〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町3番1号 四谷ワイズビル T e l . (0 3) 3 3 5 7 - 1 2 8 2 F a x . (0 3) 3 3 5 7 - 1 2 6 4 E - m a i l : zaidan@mochida.co.jp U R L : http://www.mochida.co.jp/zaidan/</p> <p>よくあるご質問 (FAQ) http://www.mochida.co.jp/zaidan/faq.html</p>
------------	--